

## 平成 25 年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立菟田野中学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

「地域の教育力」を種々の面で生徒に伝えていただくことや、地域の人と共に活動することとおして、「郷土（菟田野）」を愛し、誇りに思う生徒を育む。

## 2 取組の概要

## 《学校支援》

① 環境整備活動

「花壇の整備（5月と10月）」「校舎周辺の草刈り作業（8月～9月）」「植木や街路樹の剪定（9月～10月）」を地域のボランティアやPTAに依頼して実施することが出来た。



植木の剪定作業



校舎（2F）の花壇整備



正門前プランター花植え

② 体育大会（集団演技）の指導

体育大会（10月）時の全校生徒集団演技（団結ソーラン）の指導を、本校卒業生がボランティアで行ってくれた。



集団演技の指導

③ 登下校時の安全指導

PTAや地域のボランティアを中心に、特に登校時の安全指導を実施していただいた。

④ 地域の行事（秋祭り・初恵比寿）に関わる生活指導

PTAや地域のボランティアを中心に、地域の行事（秋祭り…10月、初恵比寿…2月）に、巡回指導を実施していただいた。

## 《放課後子ども教室》

### ① 「差無学級」

月曜日の放課後、学習支援や人権学習を、年間35回実施した。

菟田野人権交流センターにおいて、生徒（希望者15名）と本校教師や本校卒業生が、様々な「人権」問題をテーマに学習を深めることができた。



「差無学級」の学習の様子

### ② 「うたの土曜塾」

2学期より、毎週土曜日（午前中）、3年生を中心に（冬休み期間中は、1・2年生も参加した）、学習会を年間20回実施することができた。

生徒（15名）が個々の課題に取り組む中で、地域在住の元教員や卒業生（計6名）が教育活動推進員として支援を行った。



「うたの土曜塾」の学習の様子

回が進むにつれて、生徒の学習に取り組む姿勢に集中力や真剣さが増し、進路決定にも大きな成果として現れた。

### ③ 「ヒューマンライツ」

リーダーシップを保有した若者（中学生）を育成するために、地域の青年と中学校の担当教師が、水曜日の夜、人権教育を中心とした学習会を、年間13回実施した。



「ヒューマンライツ」の学習の様子

### ④ 「チャング ハジャ」

チャングの演奏や韓国絵本の読み聞かせ、韓国料理等の活動を、年間15回実施することができた。

多文化共生意識や豊かな人権感覚・感性を育む機会となっている。また、障がいをもつ子どもたちとの交流会も開催する等、「すべての人が自分らしく生きられる地域づくり」等も目指しながら活動している。



「チャング ハジャ」の活動の様子